

第7期(2009年度)SSCS(Small Schools for Civil Society)

インターンシップ奨励プログラム

活動カリキュラム(2009年6月～2010年6月)

■ 団体概要

記入日 2009年3月

団体名 (小さな学校)	特定非営利活動法人 北海道NPOサポートセンター
代表者 連絡担当者	理事長 杉山 さかゑ 連絡担当者 北村 美恵子
団体住所等	〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル 2F 電話:011-204-6523 FAX:011-261-6524 E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp URL:http://npo.dosanko.org/ 連絡のつく曜日・時間帯: 月曜～金曜 10時～18時
設立時期	1998年3月設立
団体の活動目的 と 活動内容	市民設市民営の北海道NPOサポートセンターは、NPO活動や市民事業の活性化のためなどさまざまな支援をしています。 ■サポート事業(NPO法人認証申請・登記、年度末書類作成等の実務サポート、日常会計業務支援、組織運営・会計・経営相談など) ■人材育成・研修事業等(NPO会計講座の開催、大学と連携したNPO講座の開催、NPO法人支援研修など) ■その他(NPOファンドレイジング調査研究、NPO共同事務所運営、NPO法人支援連携活動、コミュニティビジネス支援事業など)

■ 活動カリキュラム

活動名	NPO のサポート(イベント運営、会計業務、委託・助成金事業)に関する事務局補佐
主な活動場所 最寄駅と駅から の距離	上記事務所 地下鉄東西線 西11丁目駅下車 徒歩約 5分
スケジュール 2009年7月4、5日 <前期>	*カリキュラムは、状況や事情により変更となる場合があります。 「事前研修と入校式」 ・インターン開始 ・オリエンテーション ①北海道NPOサポートセンターの活動 ②NPO、市民活動とは？(事例紹介) ③北海道のNPO事情④北海道NPOバンクの説明 ⑤北海道NPO越智基金の説明 ⑥北海道NPO推進会議の説明
7月～9月 8月末～9月	・越智基金:助成金応募申請書類受付から助成金支払に関わる業務補佐 ・NPOバンク:融資申込み受付から融資実行に関わる業務補佐
2009年11月頃 10月～	「中間報告会」 ・NPOバンク:融資申込み受付から融資実行に関わる業務補佐 ※NPOバンク、越智基金、北海道NPO推進会議における業務にも関わることが可能です。 ※上記以外にも興味・関心・活動時間に応じて、別プログラムにも関わることが可能です。 ※また活動中は、毎月(月末1回)ニュースレター発送作業、NPO法人の会計業務の補助など実施予定 修了前振り返り
2009年3月頃	「9ヵ月インターン修了報告会」
2010年6月頃 <後期>	「修了報告会」
スーパーバイザー (統括受入担当)	小林 董信
メンター (日常的受入担当)	北村 美恵子
活動日・ 活動時間について	活動日は主に平日(月～金曜)ですが、一部イベントや行事によっては土曜・日曜の活動があります。 活動時間は、10:00～18:00の間。曜日・時間は応相談です。
団体を理解する ための情報につ いて	・北海道NPOサポートセンター 団体ホームページ http://npo.dosanko.org ・北海道NPOバンク ホームページ http://npobank.dosanko.org/ ・NPO推進北海道会議 ホームページ http://npo-suisin.dosanko.org ・北海道NPO越智基金 ホームページ http://fund.dosanko.org/ ・北海道NPOサポートセンターニュースレター「北海道NPO情報」 http://www.infosnow.ne.jp/~npo/html/news.html
インターンに期待 すること	・業務にあたり、特定の資格や専門性は必要ありません。ただし、パソコンを使用するためWORD、EXCEL、E-mailなどできる方を希望します。 ・スタッフとして責任をもって担当する業務に取り組むとともに、NPOに関して自分なりに興味を持ち、多様な市民活動の価値観と関わり、自己の成長へとつなげていただきたいと思います。

<p>団体からの メッセージ</p>	<p>当センターは、北海道 NPO バンク、NPO 推進北海道会議、北海道 NPO 越智基金の事務局を併せて行っており、そこでの業務のサポートもお願いすることになります。そこでは、北海道の NPO と市民、NPO と企業、NPO と行政、NPO と NPO をつなぐ体験ができるでしょう。</p> <p>また、教わるという受身ではなく、インターン生が私たちの団体にどんなことを提供できるかも重要だと考えています。ともに活動していくなかで、ひとりの学生ではなく、私たちの団体のスタッフとして、楽しく活動できることを期待しています。</p> <p>また、他の受け入れ団体で活動する各インターンの活動現場訪問や企画への参加、他のインターンシップ・プログラム関連の企画への積極的な参加など、インターン自らが創り出す学びも応援します！</p>
<p>団体の写真</p>	<div data-bbox="370 577 715 828" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: right;">2009 年 3 月 14 日 まちづくりフォーラムの様子</p>
<p>修了生からの メッセージ</p>	<p>北海道 NPO サポートセンターでのこれまでの学びは、普通のアルバイトでは経験出来ないものばかりでした。自らのやる気と努力次第で、充実した日々を過ごせると思います。</p> <p>悩んだ時や行き詰った時には、メンターの方がしっかりと話を聞いてくださり、アドバイスを頂けます。このようなプログラムに参加できる機会はなかなかありません。少しでも気になった方は、ぜひ NPO サポートセンターに話を聞きにいらしてみください。</p> <p style="text-align: right;">第 5 期インターン 平八重 宏幸 (北海学園大学大学院修士 1 年・参加当時)</p> <p>このインターンは NPO の現場で長期間活動でき、NPO 心で感じる事が出来ます。NPO に対する深い知識は必要ありません。参加資格として NPO に対する強い関心があれば充分です。NPO への関心がインターンを通してさらに広がり始めるでしょう。活動を終えた時に、新しい自分を発見することが出来る。そんな素敵なインターンシッププログラムだと思います。NPO に興味のある方は是非インターンに参加して下さい。お待ちしております。</p> <p style="text-align: right;">第 6 期インターン 森 秋之 (北海道大学大学院修士 1 年・参加当時)</p> <p>SSCS プログラムのおかげで、一年間北海道 NPO サポートセンターにインターンシップに参加させていただきました。インターンシップでは、本当にいろいろなことを学ぶ機会を与えていただいたと思います。</p> <p>実際、インターンを希望し、そして参加しようと思った理由は NPO に関連することを教えていただけるとのこともあり、自分の視野を広げるために、できる限り日本に在住期間、今までの生活では見ることのできなかつた多彩な日本社会を見てみたいという考えからでした。そういう願いを持っていただけ、心細かったです。実際にインターンに行ってみると、実習先の人たちは非常に親切でした。何も知らなかった私をいつも丁寧に教えていただきました。</p> <p>インターンシップで、私にとって、一番大きな収穫は、人との「出会い」だと思っています。照れ屋の自分はインターンシップを通して、コミュニケーション能力をアップさせていただきました。インターンは私の将来への考え方に非常に大きな影響を与え、それだけでなく自分がいかに狭い世界しか知らないかということも教えてくれました。</p> <p>インターンシップを通してのこれらの経験は今後、自分にとって必ず大きな力になると思います。この有意義な機会を与えてくれた関係者の方々に感謝を申し上げますと同時に、もっと多くの学生がこのインターンシップを活用して視野を広げ、大学で学んだ知識を活用してほしいと願っています。</p> <p style="text-align: right;">第 6 期インターン 呂慧子 (北星学園大学大学院修士 1 年・参加当時)</p>